

競 技 注 意 事 項

- 1 本大会は2015年度日本陸上競技連盟競技規則に準じて行うが、児童である年齢を考慮した教育的配慮のもとに競技を進行する。
- 2 次の事項には特に注意を払う。
 - (1) スパイクシューズを使用してもよい。(9mm以内の平行ピンを使用)
全天候型グラウンドでは足を保護するために裸足を避け、運動靴を用いる。
 - (2) スタートはクラウチングスタートを原則とするが、スタンディングスタートも認める。
また、スターティングブロックは使用しても使用しなくても構わないが、いずれの場合もスタートの姿勢でしっかり止まることが必要。
 - (3) リレーでは、テークオーバーゾーン(バトンゾーン)の手前にある10m補助ゾーンを使用してもよい。
 - (4) 選手の招集は、第1ゲート(100mスタート付近)で行う。トラック競技は、競技開始時刻の20分前、フィールド競技は、競技開始時刻の30分前に招集完了とする。
 - (5) 走高跳は、男子は110cmから、女子は105cmから競技を開始する。跳び方は、はさみ跳びが原則である。背面跳びやベリーロールは認められない。マットへの着地は足裏からとし、背中や腰からの着地は無効試技とする。
男子は130cmまで、女子は120cmまで5cm刻みでバーを上げ、以後は2cm刻みで上げる。
 - (6) 80mHは、高さ約70cm、障害数9台、スタートから第1ハードルまで13m、最終ハードルからフィニッシュまで11m、ハードル間は7mで行う。
- 3 トラック競技は、タイムレースで予選を行い、上位8人(チーム)が決勝へ進出する。
走幅跳は、3回試技のあと上位8人でさらに3回の試技を行う。
ソフトボール投は、「ソフトボール公認1号球」を使用し、3回試技のみを行い、上位8人を決定する。助走は15m以内。
- 4 各種目の8位までを表彰する。入賞者は、決勝のレースが終了後、表彰者席に集合すること。
オープン種目となる4年80mについては8位までを表彰するが、友好100mにおいては入賞等はない。
- 5 各種目の1位は、全国大会に出場する権利を得たことになるので、表彰式終了後、大会本部で諸手続きをすること。無断で帰宅した場合は、権利を失うことになるので注意すること。
- 6 男女リレー種目の上位18チームは、県選手権大会の招待リレーへの出場資格を得たことになる。希望チームは、受付時に配付するお知らせに従って申込を行うこと。当日に申込を行う場合は、県選受付担当の松本浩人まで、後日申込を行う場合は佐藤高陽まで申込を行う。
- 7 練習場として、開会式前までは本競技場を提供するが、競技の準備等の妨害をしないように注意すること。競技開始後は、本競技場のバックストレートを提供するが、競技役員の指示に従って練習すること。
- 8 競技や練習場への移動に際しては、事故のないように十分注意すること。また、児童の体調管理は、保護者や引率者が行い、出場に際しては無理のないように配慮すること。
- 9 招集所からスタート地点までの誘導は競技役員が行うので、監督や保護者の方々の競技場への立ち入りは御遠慮ください。
- 10 友好レース100mの出場資格は、4×100mRにエントリーしている選手の中で、当日のリレーのオーダーから外れた選手にある。出場を希望する選手は、受付時に申出ること。また、リレーのオーダー用紙を招集完了時刻の1時間前まで競技者係へ提出すること。
- 11 健康上の問題が生じた場合は本部に連絡する。